



大塚 敬節  
矢数 道明  
責任編集

世漢方醫學書集成

19 原 南陽 二

名著出版  
刊



南京中医药大学图书馆版权所有

近世漢方医学書集成 第I期・全30巻

ISBN4-626-00072-X C3347

近世漢方医学書集成 19 原 南陽(二) 第I期 全30巻

昭和五十四年三月二十三日 第一刷発行  
昭和六十一年二月二十四日 第三刷発行

編者 大塚敬節

発行者 中村安孝

発行人 株式会社 名著出版

東京都文京区小石川三ノ十ノ五  
電話東京(八)五二七〇番代  
振替口座 東京七一二七九番

製版所 株式会社 日本写真製版所

印刷所 有限会社 伊藤印刷

製本所 株式会社 辻本製本



子約限定版

落丁本・乱丁本はお取替えしませす。

ISBN4-626-01212-4 C3347

責任編集

大塚 敬節

矢数 道明

編集委員

山田 光胤

寺師 睦宗

大塚 恭男

矢数 圭堂

松田 邦夫

## 凡 例

一、本書第十九卷「原南陽(二)」には、『叢桂亭医事小言』卷之四下、卷之七までと、『医事小言補正』を収録した。

二、本書は全て影印版によって収録したが、影印にあたっては次のようにした。

イ、新たに柱と頁数を付した。

ロ、底本を縮少し、一頁に半丁ずつ収めた。

ハ、裏表紙や記事のない白紙は省略した。

ニ、版本の場合、本文中の蔵書印及び所蔵者による書き込み等は、全て省略した。但し、写本の場合はその限りでない。

ホ、印刷不明な箇所は、他の版本により補正したところもある。

一、底本は次の通りである。

叢桂亭医事小言 版本(嘉永七年版) 七編八冊(矢数道明所蔵)

医事小言補正 京都大学医学図書館富士川文庫所蔵写本 一冊

一、本書収録書目の解題については、第十八卷「原南陽(一)」に記した。

原  
南  
陽  
二

# 目次

凡例	三
叢桂亭医事小言	
卷之四下	三
黄痘	五
下疳	一七
眼耳	四五
鼻口喉	五七
卷之五	八五
婦人	八九
赤白帶下	一三九
小兒	一四九
疳	一六九
驚風	一八七
丹毒	一九五
卷之六	二〇三

痘瘡	二〇七
麻疹	二六一
卷之七	三〇七
藏方序	三〇九
藏方目次	三一
藏方	三五
藏方後	三五三
医事小言補正	三五七



叢桂亭医事小言

卷之四下 卷之七



叢桂亭醫事小言

四下

No. _____		溫知堂醫院藏書					
缺	完	入 手	刊 寫	年 代	流 派	著 者	書 名
		<small>昭和</small> 年			-		
		<small>月</small>					
		<small>日</small>					
矢數道明藏書		卷	卷				
		冊	冊				



# 黃疸

古ヨリ五疸ト稱テ五ツニ分ツト雖其方藥ハ必五法ニ非  
ス五疸トモニ兼テ治ス方多シ左スレハ五疸ニ分ルモノ  
ハ紙上ノ談ナリ八疸或ハ三十六疸其外種々ノ名稱アリ  
今是ヲ治スルニ緩急ニツアリ急發ノモノハ皆治シヤス  
ク緩發ハ多ク治シニクン猶更年高ノ人ハ半ハ鬼薄ヲ免  
レス緩發トハ常ニ惡寒シテ卧床スルニ及ハ又位ニ催ス  
テ累日小便微黃日ヲ經テ漸濃クナルサテ小便黃ニナル  
ハ熱アルヤ又ハ大黃ニテモ用ユレハ黃ニナレ氏沫白ク  
立モノ也此證ノ小便ハ桶ノ内ノ沸沫共ニ黃ニ見ユルモ

ノ也甚シキハ白紙ヲ染ムヘシ此病察色ヲテ知ヘシ障子  
 ヲ立テ日向ニテスカシテ見レハ肌表ニ黄ヲ見ヌ是ハ日  
 日ニ濃クナル早ク見ユル所ハ眼中ナリ病者ニ對セシ時  
 心ヲ付ヘシ白眼ニ黄ヲ帶是ハ内ニ盛ル所ノ精液黄ニト  
 リテ早ク見ユルナリ又瓜ハ豎ニ條理アリテ精液ノ通所  
 ナリ故ニ黄ヲ早ク見ヌアリ又冬日手ノ掌黄ニナルハ  
 春ニ至テ大病ヲヤムト相書ニアリ是ハ黄疸トハ異ナリ  
 一身ノ血液共ニ黄ニナルニ付テ語ルヘキアリ京師左  
 原木町ノ賣魚人誤テ指ヲ傷ルニ流血悉ク黄ナリ彼大ニ  
 驚指ヲ抱テ養壽院ニ走り来リテシカクノヲ語ル故同

社一同ニ見ルニ紙ニ染タル血藥汁ノ如シ因テ東門先生  
ニ報ス先生曰是必發黃セント是ヨリ後六日ハカリ過テ  
眼中黃漸クニ黃疸ニナリテケリ此病脾胃ニ濕熱蒸シテ  
發ス脾ハ土ニ屬シ其色黃ナリト云モノ能符合スル故五  
藏配合ノ論ノ鼻ヲ高クスル所ナリ一身血液黃ニナルハ  
全ク麴ヲ蒸タル意味ナリ酒色ニ過タル人ニ發ス甚シキ  
ハ金色ニナリ鼻煤ケ舌上黑胎ヲカケテ午後潮熱十分ニ  
胃實ノ證ヲ爲シ又薰シス、ケタル色ニナリ又黑色ニナ  
ル其證ニ至ルト肌ニ光<sup>リ</sup>ヲナシテ諸形共ニ映スル老體ノ  
人ハ必死也又白キ衣或犢鼻禪ナト黃ヲ移シ染ルコトア

リ白キ物ヲ見テ皆黃色ニ見ル別テ白雲日ニ映スルト障  
 子ナトノ紙黃色ニ見ル也經久ニ至レハ津液盡テ瓜ニテ  
 搔ケハ黃粉飛落スルアリ是ヲ下セハ大便黑漆ノ如ク炭  
 塊ヲ爲ス承氣湯ニテ一下シテ黃減スルハ吉兆トスサレ  
 氏腹滿下候ノ備リタルハ稀ニテ臍下臍傍大動築々トシ  
 テ腹勢ナク全虛候備ルモノ多シ是ヲ女勞疸トハ云ナリ  
 難治多シ仲景黃汗ト云モノハ黃疸ト異ナラス夜ヲ染ル  
 一ヲ黃汗トハ言ニクキニ似タリ予黃汗ト云ヘキモノヲ  
 見タル一ナシ黃汗ハ黃疸ノ一身未<sup>ダ</sup>黃<sup>シ</sup>シテ黃汗ノ出ルヲ  
 言ニ似タレ氏是ハ黃疸ノ初起ナリ先ツハ黃疸ハ周身黃



ニナリソノ後ニ黃汗出ルニテ肌表ニ黃ヲ不發見ハ輕證  
トス按スルニ黃疸ハ病名ニテ黃汗ハ病證ニシタシ又食  
傷ノ後ニ急發スルアリ又疫熱劇煩燥狂乱シテ一夜ノ内  
ニ發黃スルアリ是ハ佳兆也應手治スルモノ也多ク小便  
不利スルヲ此證ノ持前ニテ小便清利スレハ黃去ル茵陳  
五苓散ヲ用ユル所ナリ大便秘澁スルモノ又常也茵陳蒿  
湯也其病ハ茵陳ヲ主トス山梔子又効アリ傷寒論ニテ熟  
得スヘシ急發ノ者皆以上ノ方藥ニテ可治緩發ノ者ハ仙  
露飲ナトニテ効ヲ取又黃ニ不拘泥他證ノ甚キモノヲ主  
トメ治スル一モ有工夫ノ入ルヘキ所也大柴胡三承氣杯